

株式会社グラフィコ

# 2023年6月期 第1四半期 決算説明資料

2022年11月14日

証券コード：4930



# INDEX



会社概要



2023年6月期（第1四半期）決算概況



Appendix

# INDEX



会社概要



2023年6月期（第1四半期）決算概況



Appendix

# 会社概要



社名	株式会社グラフィコ
代表者	代表取締役社長 長谷川 純代
所在地	〔本社〕 東京都品川区大崎 1-6-1 TOC大崎 16F 〔日本橋オフィス〕 東京都中央区日本橋人形町3-1-17 日本橋人形町石井ビル 7F 〔大阪オフィス〕 大阪府大阪市西区靱本町1-6-10 本町西井ビル 8F
設立日	1996年11月7日
資本金	2億4,582万円 (2022年9月30日現在)
従業員数	58名 (2022年9月30日現在)
事業内容	健康食品・化粧品・日用雑貨・医薬品の企画製造販売
主要取引先	株式会社あらた 中央物産株式会社 株式会社大木 株式会社井田両国堂 他



代表取締役社長

長谷川 純代



## Vision

『モノ創りで、笑顔繋ぐ。』

## Mission

常に創意工夫の限りを尽くし、お客様の立場に立った思考で、  
本当に求められる商品を創出することで、  
人々を楽しく幸せにできる商品を提供いたします。

## Value

「心」を大切に、自分の利益だけでなく周囲や世界規模まで思いやり、  
仕事のみならず人として成長し  
積極的に世界に貢献できる企業を目指しています。



# INDEX



1

会社概要

2

2023年6月期（第1四半期）決算概況

3

Appendix

# 2023年6月期（1Q）業績ハイライト



## ■ 売上高

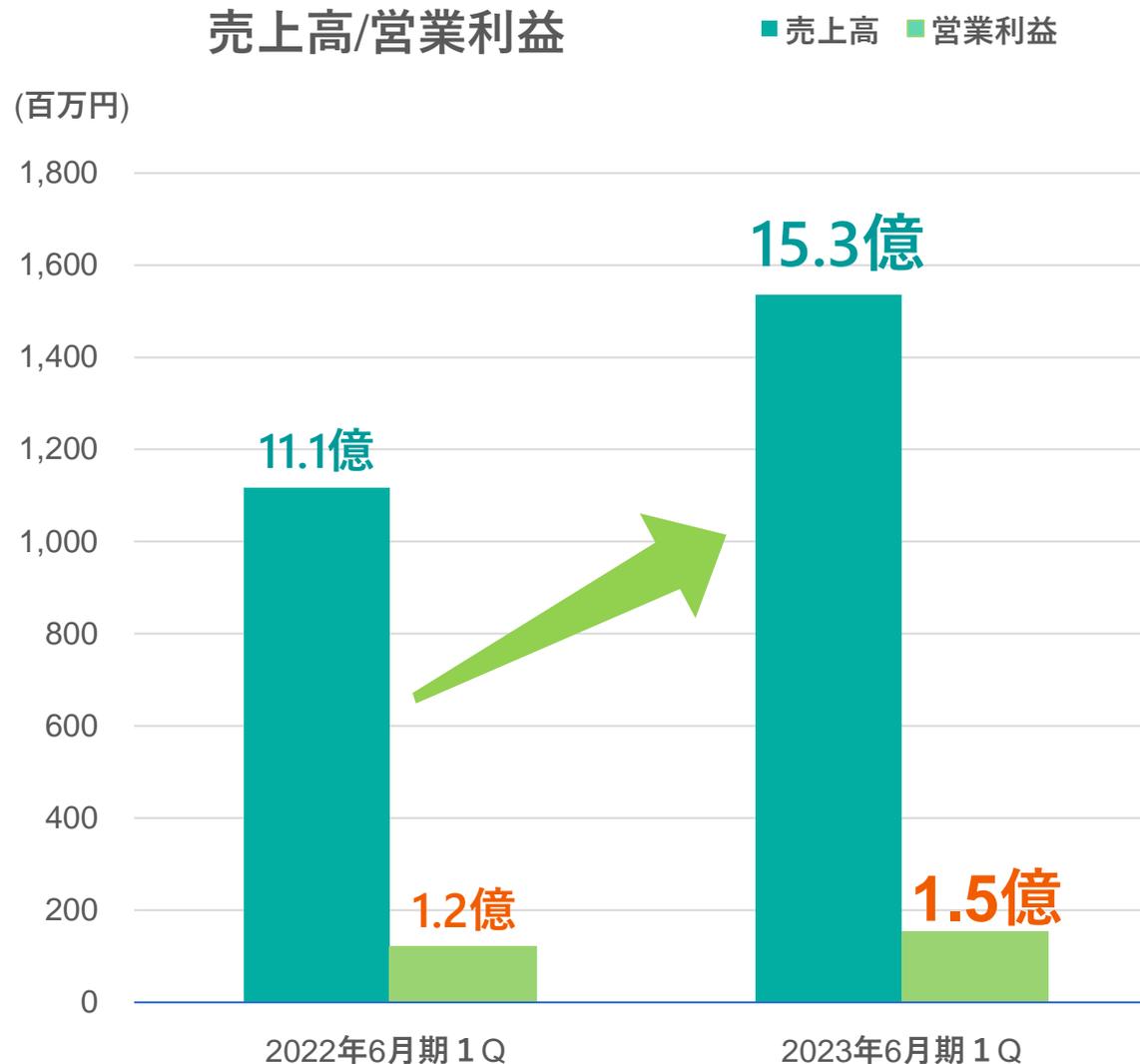
前年同期比+37.5%、4.1億円増  
過去最高売上高(四半期会計期間)

ハウスホールドの売上が大きく伸長

## ■ 営業利益

前年同期比+26.8%、32百万円増

仕入価格の上昇および急激な円安、物流コスト増加の影響を受けたが、構造改革、経費削減を推進し増益を確保



# 2023年6月期（1Q）業績ハイライト



【プラス面】



コロナ禍による衛生意識の高まりが引き続き継続、  
リピート需要により「オキシクリーン」が大幅に伸長

先行き不透明な経営環境に備えるため、  
構造改革を開始、経費削減に寄与

新規販路開拓により、在庫水準の適正化を行い、  
増加傾向にあった物流費の削減を実現

【マイナス面】



コロナ禍の影響によるインバウンド需要・海外売上が依然不振  
外出自粛により化粧品が低調

地政学的リスクにより、原材料・海上輸送費が高騰

急激な円安による輸入品の仕入れ値が高騰

# 2023年6月期（1Q）業績

前期比



- 『売上高』：ハウスホールドが大きく伸長した結果、全体では前年同期比37.5%の大幅増収を達成
  - 『売上総利益』：仕入れ価格の上昇および急激な円安の影響を受け、売上総利益率が47.6%⇒39.6%と悪化したものの、前年同期比で76百万円の増益
  - 『営業利益』：物流コスト上昇の影響、および売上総利益率低下の影響はあるものの業務効率化・経費削減等を進めた結果、前年同期比で32百万円の増益
- (百万円)

	2022年6月期 1Q実績	2023年6月期 1Q実績	前年同期比
売上高	1,117	1,536	+37.5%
売上総利益	531	607	+14.3%
営業利益	120	152	+26.8%
経常利益	122	134	+10.1%
当期純利益	84	93	+10.4%
(参考)ドル円為替相場※	110.11円	138.37円	+25.7%

※各月の実勢レートを単純平均した為替相場であり、当社の適用レートとは異なります

# カテゴリー別売上実績

前期比

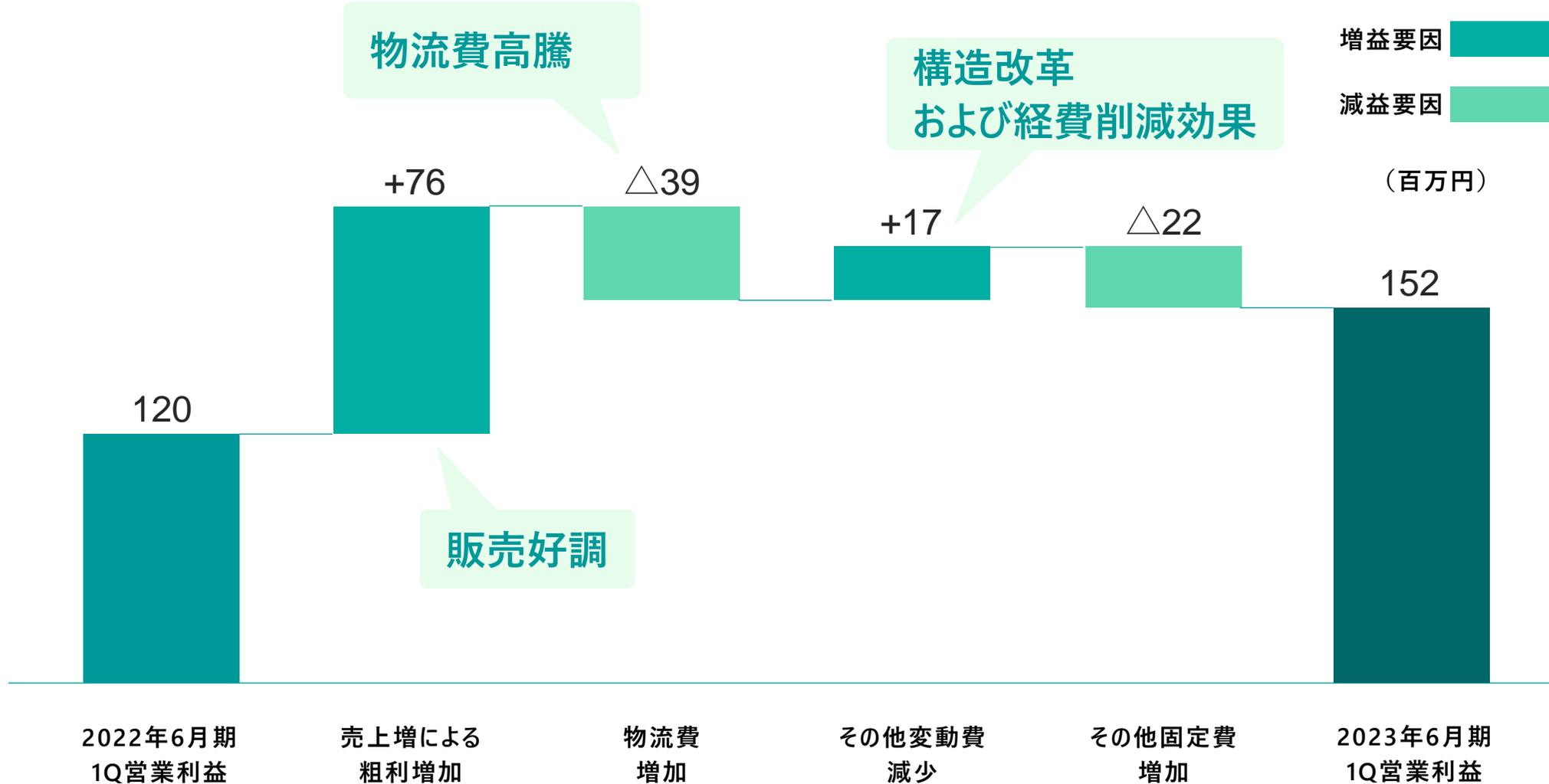


ヘルスケアカテゴリーは引続き苦戦が続くも、

オキシクリーンの大幅伸長により、ハウスホールドカテゴリーが**1.5倍**に迫る増収達成

(百万円)	2022年6月期 1Q		2023年6月期 1Q		前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	1,117	-	1,536	-	
ヘルスケア	68	6.1%	53	3.5%	△22.0%
ビューティケア	94	8.5%	93	6.1%	△1.1%
ハウスホールド	925	82.8%	1,358	88.4%	+46.8%
医薬品	24	2.2%	19	1.2%	△22.2%
その他	4	0.4%	12	0.8%	+180.2%

# 営業利益の増減要因



# 2023年6月期1Qトピックス



## リピート需要が拡大、売上増および安定に寄与

リピーター向け商品のつめかえ用商品、  
EC用商品比率が全体の34.7%まで伸長



つめかえ用  
1000g



つめかえ用  
2000g



EC専用商品  
EX2270g

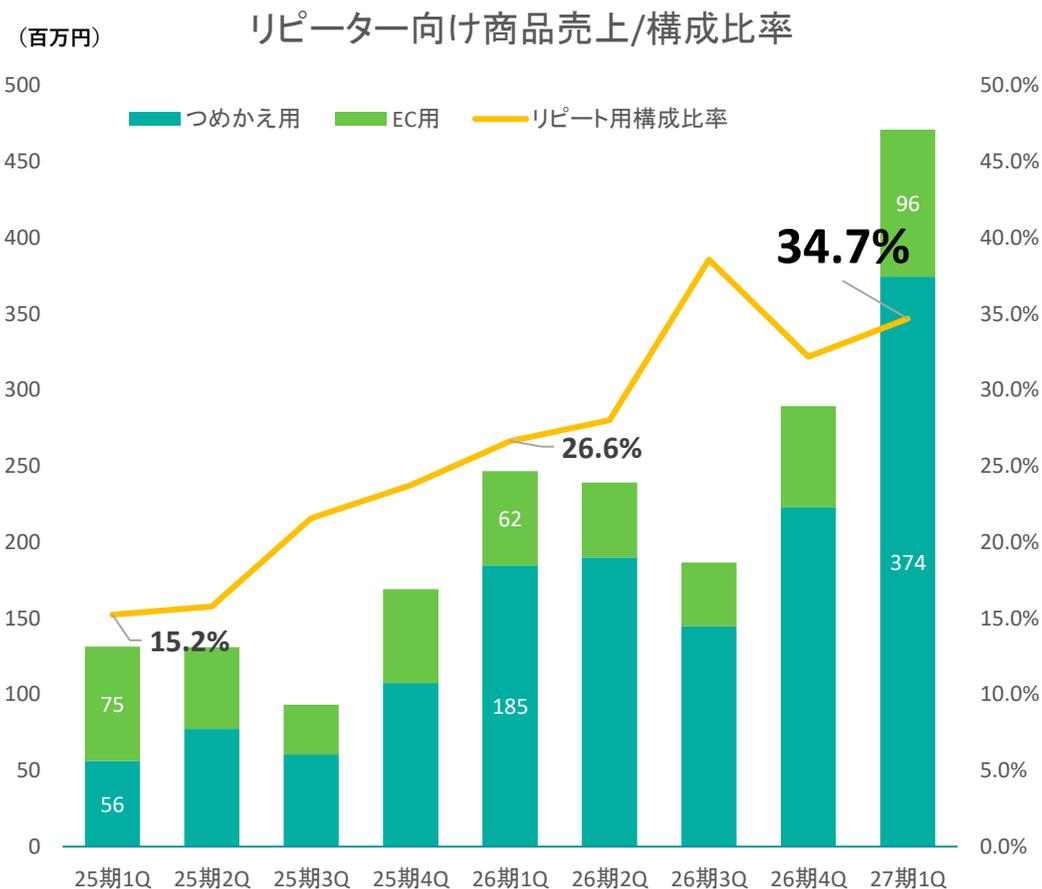


EC主力商品  
EX3270g

つめかえ用  
+103% ※

EC用  
+56% ※

※前年同期比



## 新ブランド「ウィズフェム」よもぎ温座パットがリニューアル発売



女性の不調をサポートする  
フェムケア商品として14年前に発売され、  
累計販売数1,852万個の  
優月美人よもぎ温座パットが、  
より多様な女性特有のお悩みに寄り添う  
総合ブランド「withFEM」として  
リニューアル致しました。



肌への優しさを考慮した  
オーガニックコットンを使用し、  
心地良い使用感を向上して  
おります。

※肌に触れるトップシートに  
100%オーガニックコットンを使用しています。

<https://withfem.graphico.co.jp/>

# 2023年6月期1Qトピックス



## ■ 為替の影響（+ 原材料・輸入品仕入価格 & 海上輸送費の上昇）

	2022年6月期 1Q (2021.7~9月)	2022年6月期 2Q (2021.10~12月)	2022年6月期 3Q (2022.1~3月)	2022年6月期 4Q (2022.4~6月)	2023年6月期 1Q (2022.7~9月)
売上総利益率	47.6%	46.3%	45.5%	43.3%	39.6%
ドル円為替相場※	110.11円	113.63円	116.34円	129.73円	138.37円

※各月の実勢レートを単純平均した為替相場であり、当社の適用レートとは異なります

### 対応策①

輸入計画を元に輸入代金実額に対する  
為替予約を締結し為替リスクのヘッジ

（売上原価に対するヘッジ効果を表すため振当処理を採用）

### 対応策②

9月出荷分からオキシクリーンの価格改定を実施

（平均7%；出荷数・販売数への影響なし）

## ■ 資金調達実績

金融市場・世界情勢の不透明感に備えるため、国内の低金利水準を活用し  
盤石な財務基盤を整えることを目的に上場後初の大規模な調達を実行

	2022年6月期 4Q実績	2023年6月期 1Q実績
有利子負債残高	200百万円	1,000百万円
社債	—	500百万円
銀行借入	200百万円	500百万円
自己資本比率	77.7%	59.5%

※有利子負債による資金調達実行後も自己資本比率59.5%と高水準を維持

# INDEX



1

会社概要

2

2023年6月期（第1四半期）決算概況

3

Appendix

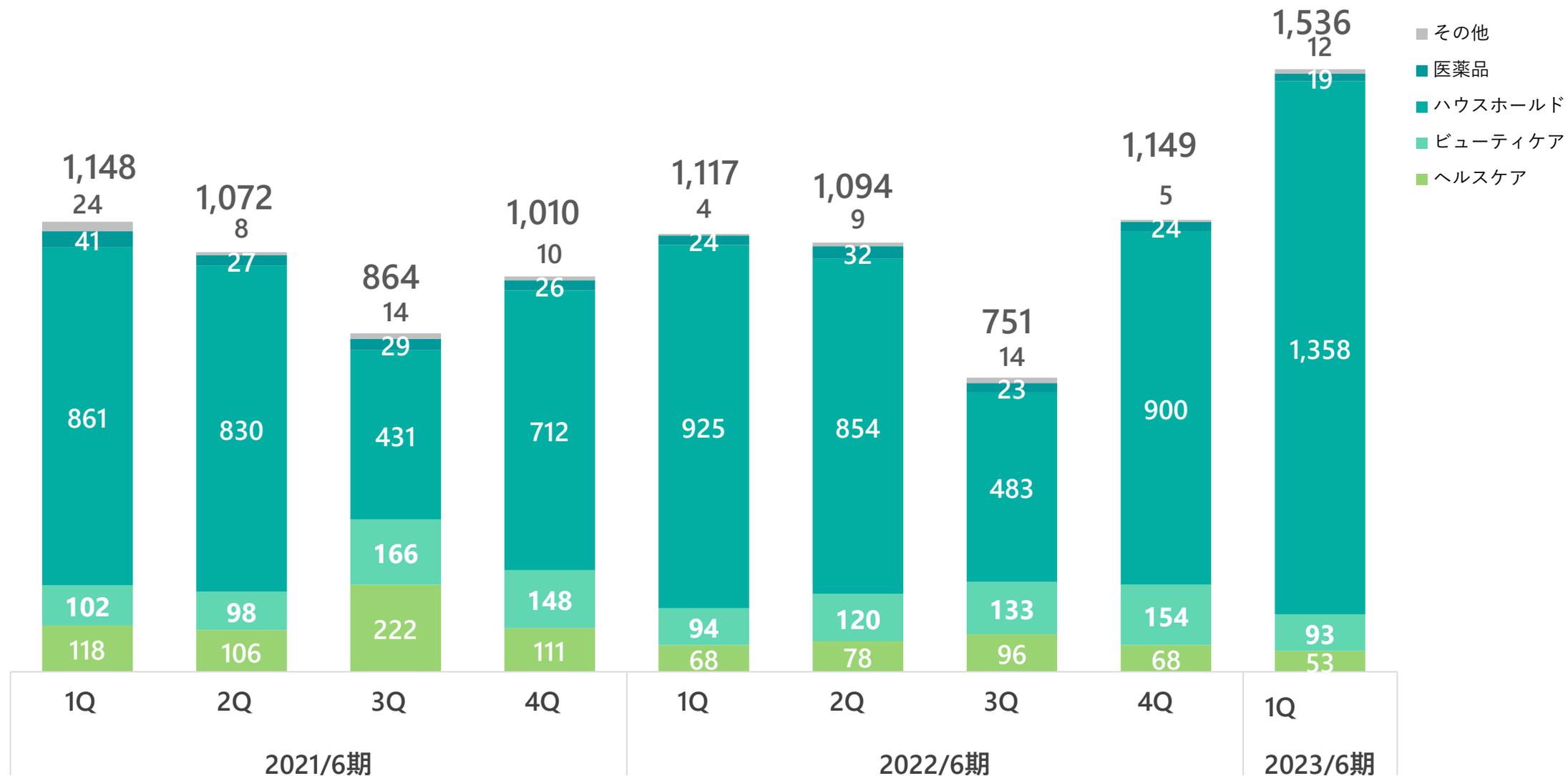
# 損益計算書 四半期推移



	2021/6期					2022/6期					2023/6期
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q
売上高	1,148	1,072	864	1,010	4,096	1,117	1,094	751	1,147	4,111	1,536
売上総利益	527	512	427	530	1,997	531	507	341	496	1,877	607
(売上高総利益率)	(45.9%)	(47.8%)	(49.4%)	(52.5%)	(48.8%)	(47.6%)	(46.3%)	(45.5%)	(43.3%)	(45.7%)	(39.6%)
販売費及び 一般管理費	413	379	405	480	1,679	411	371	381	486	1,651	455
営業利益	113	132	21	49	317	120	135	△39	10	225	152
(営業利益率)	(9.9%)	(12.4%)	(2.5%)	(4.9%)	(7.8%)	(10.8%)	(12.4%)	(△5.3%)	(0.9%)	(5.5%)	(9.9%)
経常利益	90	129	7	47	274	122	135	△40	△5	211	134
四半期(当期)純利益	55	87	4	35	182	84	93	△28	△3	145	93
(四半期(当期)純利益率)	(4.8%)	(8.2%)	(0.5%)	(3.5%)	(4.5%)	(7.6%)	(8.5%)	(△3.8%)	(△0.3%)	(3.5%)	(6.1%)

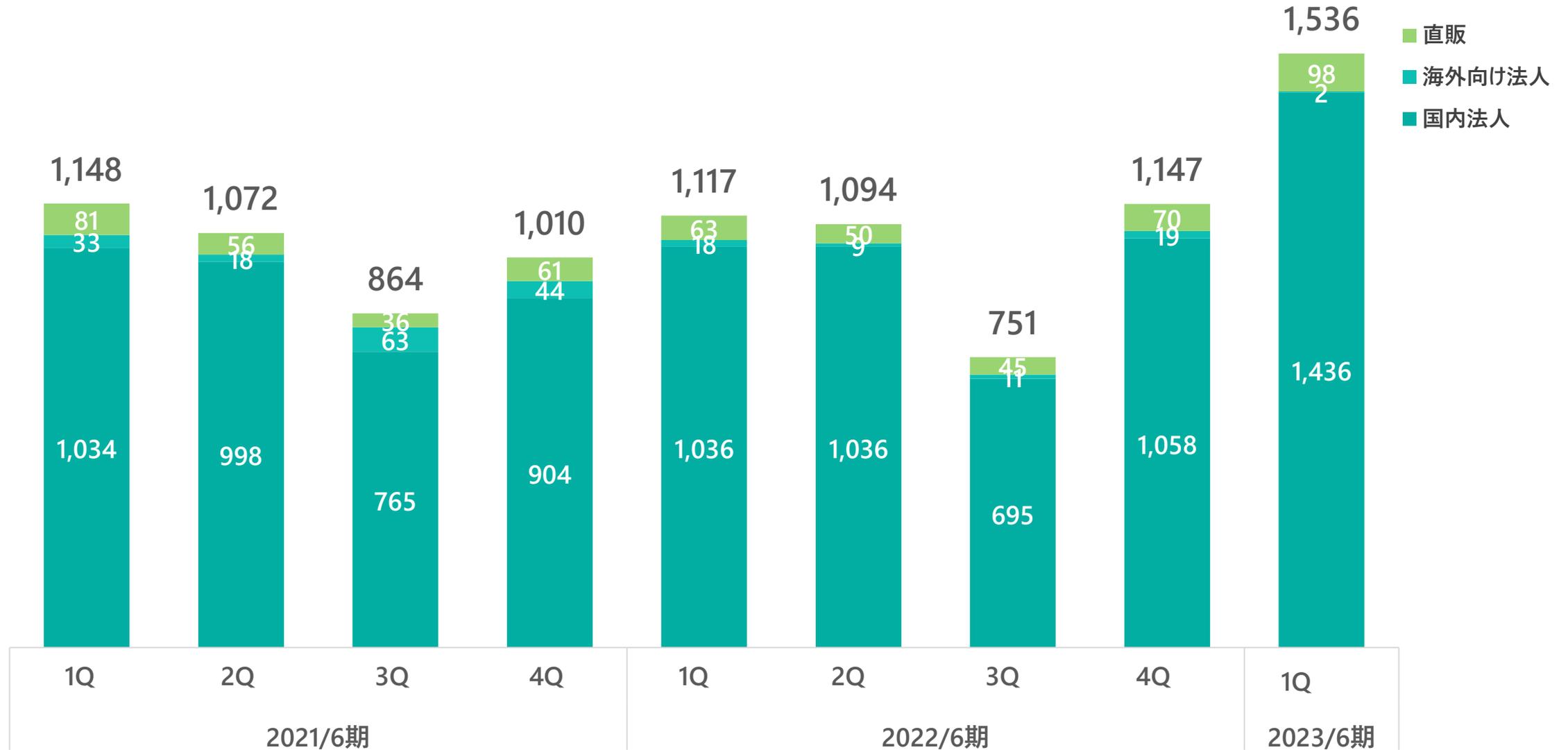
※2022/6期1Q以降は収益認識基準適用後の数値

# カテゴリー別売上高 四半期推移



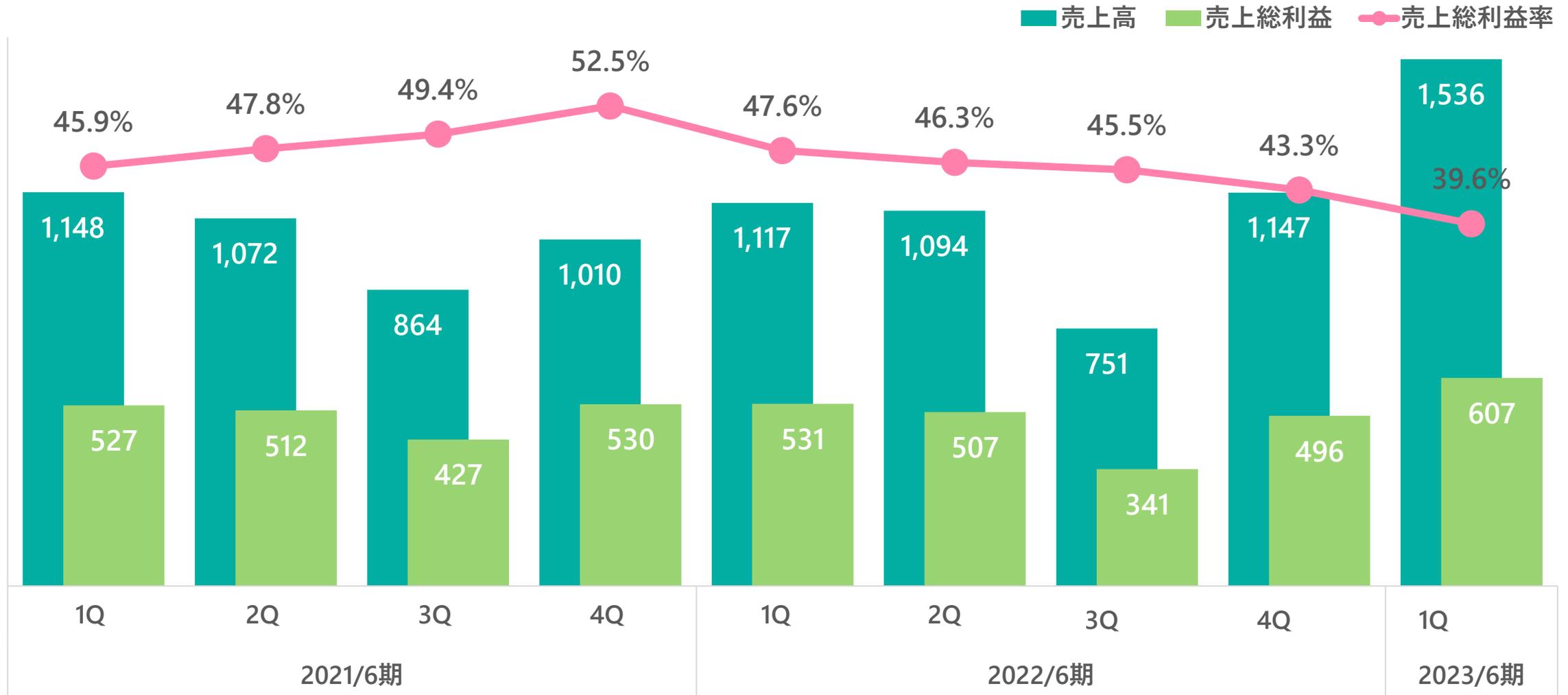
※2022/6期1Q以降は収益認識基準適用後の数値

# チャンネル別売上高 四半期推移



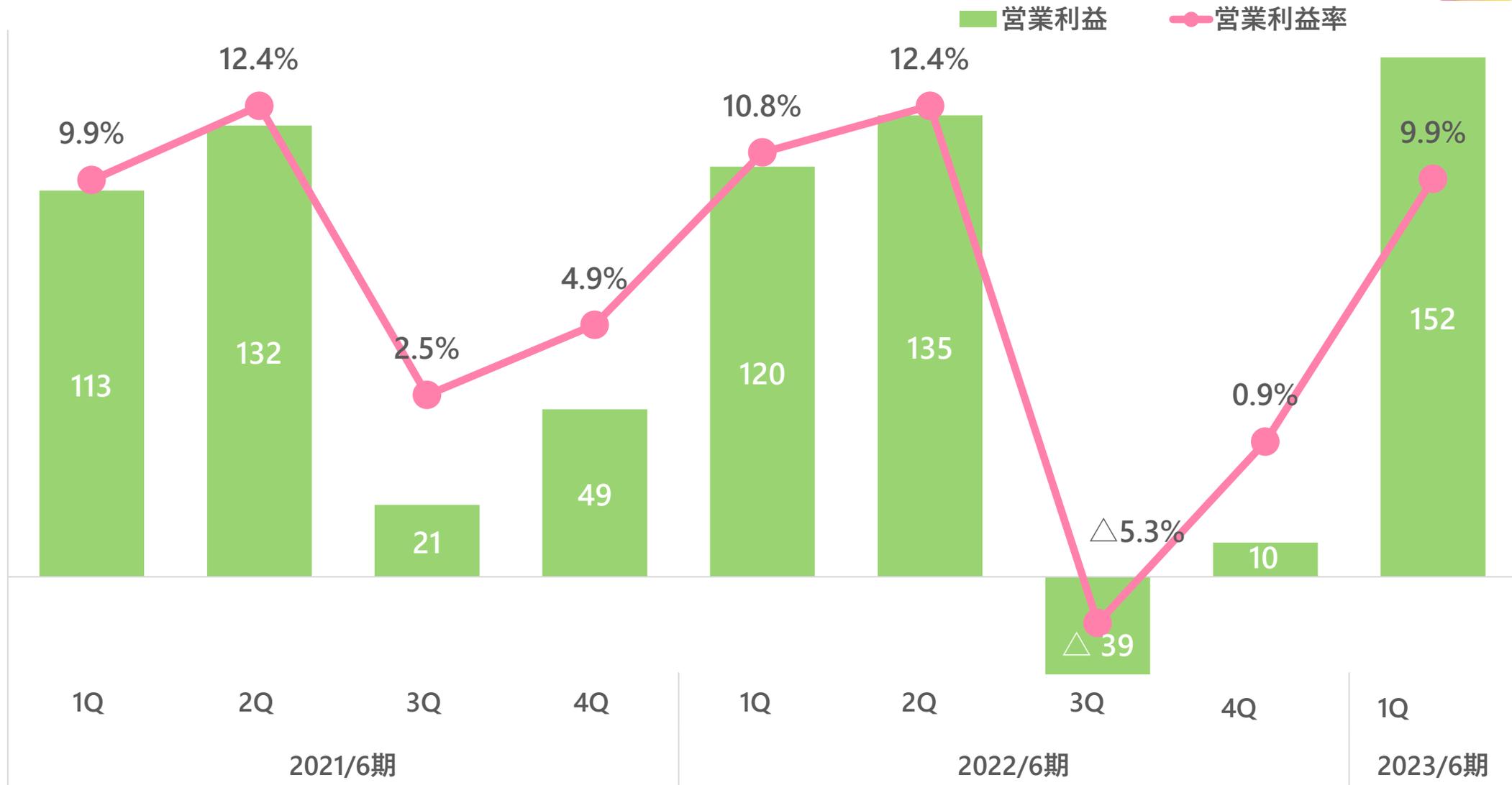
※2022/6期1Q以降は収益認識基準適用後の数値

# 売上/売上総利益 四半期推移



※2022/6期1Q以降は収益認識基準適用後の数値

# 営業利益/営業利益率 四半期推移



※2022/6期1Q以降は収益認識基準適用後の数値

# 貸借対照表



(百万円)

	2022年6月期末	2023年6月期1Q	増減額	前期比
<b>流動資産</b>	<b>2,575</b>	<b>3,535</b>	<b>+960</b>	<b>+37.3%</b>
うち、現預金	310	1,615	+1,305	+420.7%
うち、売上債権	583	592	+9	+1.6%
うち、棚卸資産	1,590	1,244	△345	△21.7%
<b>固定資産</b>	<b>118</b>	<b>140</b>	<b>+21</b>	<b>+18.2%</b>
<b>資産合計</b>	<b>2,694</b>	<b>3,675</b>	<b>+981</b>	<b>+36.4%</b>
<b>流動負債</b>	<b>595</b>	<b>683</b>	<b>+87</b>	<b>+14.7%</b>
うち、買掛金	151	107	△44	△29.4%
うち、有利子負債（1年内含む）	200	200	—	—
<b>固定負債</b>	<b>5</b>	<b>805</b>	<b>+800</b>	<b>+15565.7%</b>
うち、有利子負債	—	800	+800	—
<b>負債合計</b>	<b>600</b>	<b>1,488</b>	<b>+887</b>	<b>+147.8%</b>
<b>純資産</b>	<b>2,093</b>	<b>2,187</b>	<b>+93</b>	<b>+4.5%</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>2,694</b>	<b>3,675</b>	<b>+981</b>	<b>+36.4%</b>

## 【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている当社の現在の業績、計画、戦略などのうち、過去の事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で把握可能な情報から判断した見込みです。従って、経済動向や市場需要、その他諸制度などに関わるリスクや不確実性を含んでおり、実際の業績は記載の将来の見通しと大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

